Iwatani Materials

イワタニ ガーデンウォール

「ガーデンウォール」はブラウンとグリーンの2色。
サイズは、15㎝×8m、30㎝×8mの2種類を用意。
好みと用途でお選びいただけます！

アイデア次第で簡単ガーデニング！

花壇に！

野菜畑に！

芝止めに！

設置はラクラク！

野菜を植える！

長く採る、よく育つ！
冬越し栽培 驚きワザ22

元肥を入れる

雑草堆肥を表層に混ぜる

1年寝かしておいた手づくり雑草堆肥をまいて表層約10㎝に混ぜた。堆肥の量は、1㎡あたり3kgくらい。土が肥えていると判断し、ボカシ肥料は不使用。

高畝をつくる

1 畝の周囲に溝を掘る

幅約60㎝、長さ約250㎝の畝をつくる。まず、畝をつくる外周に沿って、深さ5～6㎝の溝を掘る。

2 波板を立てる

波板を溝に沿って立てる。短めの支柱を土に挿して支えにしながら、畝全体をグルリと波板で囲む。

3 畑の土を入れる

畑の土を波板の高さの8～9分目まで入れる。グラグラしていた波板も、土を入れて支柱を横方向に渡すとしっかり安定する。

植えつけ

畝の周辺に定植して刈り草を敷く

苗を等間隔に並べ、クラウンの向きを確認して花芽が出る方向を波板側に向けて植えつけた。株間は30㎝弱。植えつけ後、畝の表面に刈り草を敷いておいた。

メンテナンス

古い葉を取って掃除しながら育てる

このまま越冬させ、春に新葉が出始めたら、枯れた葉を取って整理する。葉柄を途中で切らず、根元の部分までかき取るのが、株を丈夫に育てるポイントだ。

波板が広がらないように支柱で支える

POINT

果房が土に触れずきれいな実が採れる

超高畝栽培のもうひとつの狙いがこれ。花芽を壁の縁に引っかけてぶら下げ、実が土に触れないように栽培をすることだ。狙い通りに、きれいな実を収穫することができた。

20 5つのメリットで収穫もラクチン 生育促進

イチゴの超高畝栽培

編集部の畑で実践

世話がしやすくてきれいな実が採れる

岩谷マテリアルの「ガーデンウォールブラウン」を利用。幅30㎝、長さ8m、ポリ製の丈夫な波板だ。

のイチゴ栽
購入した
を利用し
てイチゴ
畝のサ
50㎝で、
間だが、ひ
た。
する。②土
畝の土が崩れな
い。④通路が歩きやすく、イチゴの世話がしやすい。⑤イチゴの果房を波板に引っかけて、空中にならせたい（＝実を土に触れさせない）、の5つだ。

この畝のヒントになったのは、以前取材で伺った三重県の村田憲さんの畑で見たサツマイモ栽培用の高畝。村田さんは水田用の畦板を利用していたが、構造をほぼ真似させていただいた。

さて、編集部のイチゴは順調に育って、5月に収穫のピークを迎えた。波板の縁に果房を引っかけ、狙い通りにきれいなイチゴを収穫することができた。

家庭菜園誌『野菜だより』でガーデンウォールが紹介されました！

『野菜だより』（学研プラス、年6回、偶数月3日発売）は全国書店で発売中。

学研プラス発行『野菜だより』2017年11月号で、ガーデンウォールを使ったイチゴの超高畝栽培術が紹介されました。高畝にしても土が崩れず、また、果房を壁に引っ掛けることできれいな実が採れるというアイデア栽培です。

楽しい収穫！

岩谷マテリアル株式会社 〒104-0033 東京都中央区新川一丁目4番1号 住友不動産六甲ビル
☎03-3555-3501（合成樹脂本部 東日本担当） https://www.imcjpn.co.jp/